

2012年8月13日

浦安市都市環境部みどり公園課様

北栄第二児童公園の土壤汚染対策のお願い

放射能汚染から子どもを守るうらやすネットワーク

私たちは福島原発事故以降、放射能汚染から子どもを守りたいという一点で集まり、毎週のように子供たちが遊ぶ公園などの空間線量の測定を続けてきました。今最も心配されるのが子供たちの内部被曝です。空間線量測定を続けるうちに公園の土壤汚染がどういう状況なのか心配になり、去る8月10日、これまで測定してきた公園のうち、空間線量が高かった公園4ヶ所の土壤を民間検査機関に持ち込み、測定しました。

その結果、北栄第二児童公園植込みの土壤が **29,457Bq/kg** であることが判明しました。この数値は環境省が示している通常の埋立処理ができない「指定廃棄物」の基準である **8千 Bq/kg** をはるかに超える、看過できない異常に高い数値です。土が空中に舞うことにより口や鼻から体内に摂取してしまう危険性も大きいと考えられます。吸入により肺に取り込まれた放射性物質は肺にとどまる期間が長く、経口摂取よりも体外に排泄されにくいと言われています。まさに住民の命と健康にかかわる重大な事態です。

うらやすネットワークとして、浦安市が以下の項目について緊急に対応されることを強く求めます。

記

- 1、指摘箇所を中心とし、当該公園の土壤調査を市の責任で直ちに実施すること。
- 2、測定した数値を市民に公表すること。特に近隣住民への周知徹底を行うこと。
- 3、ただちに当該公園の除染対策を講じること。その際、放射性物質の扱いについては現在判明しているなかで最も適切な方法をとること。

以上。